

ななハートフルケアなかの

中野区介護サービス事業所連絡会 発行 会長 田口善彦

災害についてのアンケートのご報告

中野区介護サービス事業所連絡会では、2021年度の事業、運営委員を中心に災害対策チームを立ち上げており、12月に研修を実施しました。

今後、中野区の防災の現状及び緊急時の事業者間の連携など、2022年度に向けてアンケートを実施し、会員事業所の皆様から貴重な声を頂きました。

アンケートのご協力に感謝するとともに、皆様にアンケート結果をご報告いたします。

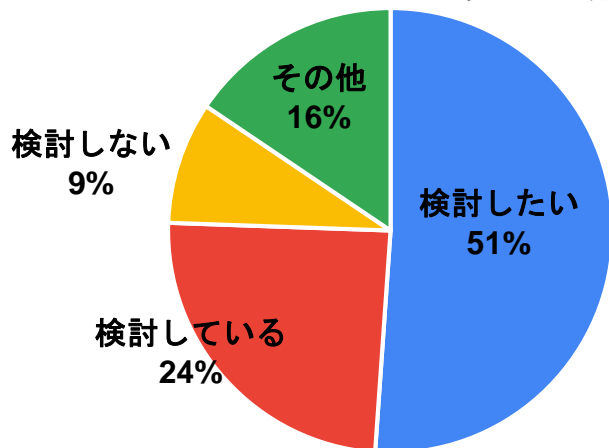
アンケート結果 45事業所より回答

1. 自然災害発生時のBCPを策定するために区の担当者から聞きたいことをご記入ください。

アンケートの回答（一部抜粋）

- 介護事業者に求めるもの、または区としての介護事業におけるBCPの基本方針なりガイドライン
- 区では安否確認の取りまとめをする部署はございますか？
- 中野区として（電気・水道・ガス等）の被災想定をどのように検討しているのか知りたい。また、復旧のための動きや地域への連携をどのようにされるのか知りたい。
- 災害時個別支援計画を迫る介護者に策定しているが、地域の防災担当とのかかわりや流れを知りたい。
- 自然災害が発生した際、区からはこういった情報がどのような形で提供されるのか？時系列に沿った形で教えて欲しい。
- 区からの事業所への物資の供給は考えているのか？供給されるとしたらどのような物を予定しているのか？
- 事業所連携協定について素案を区は考えているのか？
- 中野区としての区より地域（町会、自治会、包括センター等）への実際の災害時の情報発信方法やその場合、事業所はどこから情報をキャッチできるか？住民との共助がどこまでできるのか地域との連携方法等

2. 災害が発生したときに他の事業所と連携協定など検討していますか？



3. 事業所連携協定についてご意見をご記入ください。

アンケートの回答（一部抜粋）

- 例えば中学校区とか、小学校区のエリアごとでの対策など、あらかじめ連携して協議しておくことが、実質的な事業継続に繋がると思います
- 業務継続の為にはより事業所間の連携が重要となります。顔見知りで日頃から信頼関係のある事業所同士も良いのですが、地域ごとに区分けをしてそれぞれの規模に応じチームとするのも良いのではないかと思います。
- 協定のため、どのような内容、書式が必要か、書式などの留意点を提示してほしい
- 事業所連携と同時に地域との連携を大切と思っています。
- 事業所間の連携協定は、コーディネーターが必要で災害時に助け合うシステムが作れたらと思っています。被災された方々の話を聞いてみたい。
- 災害時に利用者の安否確認を行うため、近隣の事業所で、担当区域を分けて状況確認が必要かと思いますが、個人情報は大丈夫なのでしょうか。
- 重度障害者や独居利用者などご利用者個別に緊急時、災害時の連絡・支援の取り決めを行いたいと考えています。
- 自然災害時は全事業所が協力し合うべきと思います。事業所ごとに担当地域を決めて、同じ利用者の救出に集中しないような仕組みがあれば良いと考えます。

「BCP（業務継続計画）策定するためのアンケート」を実施して

オミクロン株の感染拡大が続き、陽性者の報告が増えてきており、事業所の感染防止の対応や感染した場合の対応等についてご苦労されていることと察します。

令和6年4月から「感染症発生時」「自然災害発生時」のBCP策定が義務化になります。

それまでの間に各事業所は周知・研修・訓練・計画の見直し・変更を行っていき、BCPと平常時の日常業務をいかに融合させていけるか求められています。

今回は自然災害時の発生時のBCP策定するために、区の防災についての動きを事前に情報収集して計画に反映できるよう、会員の事業所の方々にアンケートを実施しました。

その結果ではさまざまな意見がありましたので、区の防災課や地域活動推進課から回答していただくよう調整しているところです。

また、災害が発生したときに他の事業所と連携協定など検討しているか？の質問に対して「検討したい」が22件、「検討している」が11件ありました。

この結果から、多くの事業所が連携を望んでいることがわかり、中野区介護サービス事業所連絡会として、会長と相談しながら、どのような形で連携協定ができるのか方向性を検討していき、災害時に助け合う組織づくりができればと考えています。また、中野区全体の取り組みとして地域ケア会議等で検討することも必要なため、連絡会の運営会議で区の担当者にも働きかけをしていきたいと思っています。



中野区介護サービス事業所連絡会 副会長
災害対策チーム リーダー

森 京子（みつ葉居宅介護支援事業所）

新規事業所紹介

事業所名：あけぼの介護センター中野南

所在地：本町5-38-11 ユニテ中野102 TEL 03-6382-7908 FAX 03-6382-7909

人員構成：・居宅介護支援事業所：介護支援専門員（4名）
・訪問介護事業所：サービス提供責任者（5名）

新井では以前より活動されているあけぼの介護センターさん。
2020年に本町に新しく事業所をオープンされました。直接取材に
伺いたかったのですが、コロナ禍の為、書面でのインタビュー。
居宅介護支援事業所管理者の大原さんにお話をお聞きしました。



▶事業所のオープンはいつですか。

令和2年10月1日です。

▶事業所の想い（大切にしている事）をお聞かせ下さい。

地域に貢献出来る事業所として、チームワーク・フットワーク・ネットワークを大切にしています。

▶事業所連絡会への想い(介護サービス事業所連絡会に加入してやりたいことなど)お聞かせください。

他事業所・多職種との連携交流を行い、切磋琢磨し皆で成長していきたいです。



部会の活動にも興味がありますと言って下さった大原さん。

急な取材のお願いにも快く対応して下さいありがとうございました。

(取材：白岩)

事業所名：中野ふれあいサービス（訪問介護・介護タクシー）

所在地：本町1-2-12 TEL 03-6276-0172 FAX 03-6276-0173

人員構成：従業員（7名）

代表の野村大樹さんにお話をお聞きしました。

野村さんは中野坂上の相生町会で生まれ育ち、子供の時から
障害をお持ちの母親をサポートし、ご近所の方々にも助けても
らいながら成長をしてきました。

そのようなご近所の方々も高齢になり、母親やご近所の高齢
者に利用してもらいたいとの思いから2020年4月より介護タク
シーを始めました。



その後、介護タクシーを中心とした生活援助の自費サービス（付き添い・見守り・買物サービス）な
ども始め、より利用者が利用しやすいサービスにしていこうと、訪問介護事業を始めることになったと
のこと。野村さんはこれからもご近所付き合いが続いていくことができるような地域にしていきたいと
の思いで、利用者のニーズに合ったサービスを展開していこうと考えています。

最後に将来の夢をお聞きしました。

『今、この地域で生まれ育った方達が高齢になり、地域外の施設に行ってしまうことがあります。

私が、この地域にサ高住を建てて最後まで生まれ育った場所で、知った顔同士が最後まで暮らして
いける場所にしていきたい。』

その思いは小さい時から町会の方々にも助けてもらってきた、野村さんならではの感想でした。

(取材：清水)

①総会日時 2022年4月21日(木)18時30分～

②開催方法 ZOOMによるオンライン開催

③総会の議案について 4月14日(木)に中野区介護サービス事業所連絡会ホームページに掲載及び会費納入時にいただいているメールアドレスに議案を送付いたします。

④出欠及び委任等についての回答 議案の送付時に-googleフォームの案内をさせていただくので、フォームにて回答をお願いいたします。

回答締め切り(予定) 4月20日(水)

《昨年度の総会の様子》

<問合せ>

中野区介護サービス事業所連絡会

事務局担当 電話 03-5380-0751



なかなか皆さんと直接お会いできる機会が少なくなっておりますが、コロナ禍の中、様々な活動をしていることを運営会議の中で伺っております。

2022年度の連絡会の取り組みを一緒に考え共有する場である総会に、オンライン上ではありますが、多くの方に参加していただきたいと思っております。

よろしく申し上げます。

(中野社協 小山)



編集後記

広報の皆さんには助けられっぱなしの1年間でした。ありがとうございました。(花堂)

春が来ました。どんな大変な時でも自然はすごいですね。もうひと踏ん張り！(白岩)

お世話になりました。今年度は助け合うことの意味を学ぶ1年になりました。感謝です！(清水)

今年度もお世話になりました。これからもハートフルケアなかのを宣伝していきます！(田村)

PowerPointの作成能力を存分に生かし、一年間予定通りの発行に貢献できて嬉しいです！(佐藤)

「ハートフルケアなかの」は、中野区介護サービス事業所連絡会ホームページからダウンロードできます。職員、利用者様にも配布してご活用ください。

(<http://www.nakano-kaigo.org/>)

事務局：中野区社会福祉協議会 経営管理課内 担当 小山・合川

〒164-0001 中野区中野5-68-7 スマイルなかの4階 (日・祝・第3月休)

電話：5380-0751 FAX：5380-0750